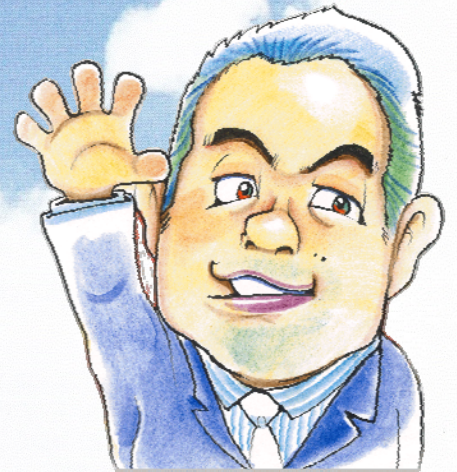


まな ^{まな} ^や **学 び 舎**

入 塾 の し お り



責任者 おおくさ とおる **大草 徹**

学び舎とは

圧倒的な学習量をもとに学力を養成し、

修猷館高校・城南高校・筑前高校・玄洋高校・糸島高校など、

第六学区内の普通科高校をめざすための進学塾です。

学力だけでなく、あいさつをすること、時間を守ることなど、基本的な生活習慣もしっかりと身につけ、人に信用される人物を育てることを目標としています。



学び舎の特徴

① 電子黒板を利用した効率の良い授業

- ・電子黒板を使用し、授業中の板書時間を極限まで減らします。

1時間の授業内で、講師が板書をする時間はおよそ15分弱です。つまり、授業時間のおよそ4分の1を占めています。しかも、講師が板書をする間、生徒はその板書が終わるのをただ待っているのが現状です。つまり、実質的な授業時間は、授業時間のおよそ4分の3に限られるということです。板書が遅い講師の授業では、実質的な授業時間はもっと減ってしまうということです。

さらに、整理された板書は、整理された記憶として頭に残り、思い出す際にも役に立ちます。

電子黒板は、整理された板書を短時間に表示することができます。電子黒板を利用することで、生徒は無駄な待ち時間なく授業を受けることができます。

② 効率の良い授業を行うためにつくられた自作テキスト

- ・自作テキストによって、ただ「写すだけ」という「作業」を極限まで減らします。

授業形式にもよりますが、1時間の授業内で生徒が板書を写す時間はおよそ5~10分です。小・中学生たちの多くは写しながら聞くことができないため、この10分間は、黒板をただ「写すだけ」という「作業」に費やされることになってしまいます。効率の良い授業を行うためにつくられた自作テキストは、「写すだけ」という「作業」を必要最小限に抑えることを実現します。

③ リスニングに強くなる正しい発音

- ・正しい発音の単語・文章を収録した音声CDを配布いたします。

リスニングに強くなるには、正しい発音を聞き、正しい発音で実際に読むことです。塾や学校で正しい発音を聞いていたとしても、それだけでは正しい発音を身につけることは困難です。英会話教室に通っているお子様も、英会話教室でしか正しい発音にふれる機会がなければ、なかなか正しい発音は身につけません。

学び舎では、正しい発音を単語ごと、文章ごとに収録したCDをお渡しし、ご自宅で何度でも聞くことができるようにすることで、リスニングに強くなるための発音の対策ができるようにしています。CDを聴き、繰り返し発音をするという本人の努力次第で、正しい発音とリスニング力を身につけることができます。

④ 充実した補習体制

・授業のすべてを録画し、補習・復習に活用します。

授業のすべてを録画し、欠席者の補習を実施します。(補習は原則として塾で受講していただきます)

欠席した授業の補習は、授業開始 10 分前までに欠席の連絡をいただいた場合、無料で実施させていただきます。きちんと出席した授業でも、もう一度受講したい場合などは、本人からの申請があれば、無料で受講できます。また、途中入塾の場合も、入塾前の授業を受講できるシステムを導入していく予定です。

⑤ 学習状況の報告

・パソコンを利用した出席簿から、毎月の学習状況を郵送させていただきます。

学び舎では、出欠管理、塾内での暗記テストの結果管理などを、すべてパソコンを用いた出席簿にて行います。毎月初めに、先月の欠席回数・出席率、遅刻回数・遅刻率、宿題忘れの回数、塾内での暗記テストの合格回数・合格率、すべての暗記テストそれぞれの詳細な結果などを郵送させていただきます。

また、日々のテストの結果についても翌日中にメールにてご連絡させていただきます。

⑥ 定期テスト対策

・各中学校で行われる定期テストの対策授業を実施します。(別途料金は頂きません)

学び舎では、定期テストを重要視しております。それまでの学習内容を、目的をもって全科目徹底的に復習することで、定期的に学習内容の定着を図ることができます。そのため、定期テスト 2 週間前からは、テスト対策特別時間割となり、通常とは異なる曜日・時間帯にも授業やテストを実施致します。通常よりも授業回数は増えますが、それに関して別途料金をいただくことはございません。

⑦ 季節講習会

・長期休みごとに講習会を実施いたします。

各長期休みには、講習会を実施いたします。(講習会期間中は特別時間割となり、通常授業はありません) 学期ごとにそれまでの学習内容の復習を中心として、カリキュラムに合わせた授業が実施されます。学習効果の観点から長期休暇ごとに復習を行うことは必要不可欠であると考えておりますので、塾生は原則として全員受講していただきます。

※ 中学生の春期講習会は、次年度の予習授業を実施いたします。

※ 申し出があれば、講習会の休塾は可能です。

⑧ 入試対策授業

・福岡県公立高校の五科目入試対策授業を行います。

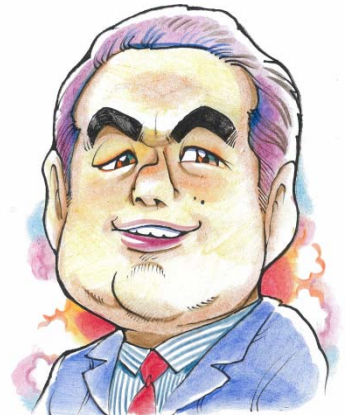
福岡県公立高校への合格を最大の目標とし、五科目の入試対策授業を実施致します。私立高校の入試対策はそのために 1 つのステップとして取り入れておりますが、あくまでも、公立高校への合格を実現するための 1 つのツールとして取り扱うこととなります。したがって、私立高校を第一志望とお考えの方には他塾をお勧めする場合もございますので、御了承ください。

⑨ 三者面談の実施

・全学年、各学期末に三者面談を実施します。

全学年、7 月・12 月・3 月の年 3 回三者面談を実施いたします(中 3 は別途、私立高校受験校の選定・公立高校受験校の決定の面談も実施致します)。それまでの学習状況の報告や、お子様の良い点・悪い点、これからの学習において気を付けていくべきことなどについて、お話しさせていただきます。

教室長紹介 おおくさ とおる 前原校教室長 大草 徹



大学生の頃にアルバイトで塾講師を体験したのをきっかけに、「教える」ことの魅力に魅せられ『塾人』となることを決意。

就職活動では、塾のみを対象に就職活動を行い、数社の塾を受験し、すべての塾に合格。面接の担当者にほれ込み、合格した中で最も小さな会社である「育英館」に入社。

入社2年目には国語科主任、3年目には生徒数40名ほどの小教室の教室長に就任、4年目には生徒数100名ほどの大教室の教室長に就任、5年目には数学科主任へと就任するなど順調に昇進し、7年目には教務部部長として全7教室の教務全般をとりしきるようになる。

約20年間の塾講師としての経験をもとに、IT機器を駆使した次世代の塾をめざし、「学び舎」を開設。塾にIT革命を起こし、「人に信用される人間を育てる」という教育理念のもとに、日々教育に専念している。

※その他の経歴

・入社1年目から、複数の塾が合同で実施する『正月特訓講座』にほぼ毎年講師として参加。

2006年以降からは、数学の講師として定着し、『正月特訓講座』のアンケートでは2位にダブルスコアの大差をつけての1位を9年連続で達成。現在も継続中。

学び舎でのルール

① 塾の周りにいる人には、必ず挨拶をすること。

(塾内でも、先生・お友達・お客さんなどに、きちんとあいさつをすること)

あいさつは、人付き合いの第一歩です。「人間は社会的存在である」と言われます。人は人の助けなしに生きていくことはできません。私は、あいさつをする人と、あいさつをしない人では、助けてくれる人の数は大きくちがうと思っています。

塾の外にいる人を見かけたら「こんにちは」、塾に来たときには「おはようございます」や「こんにちは」、授業が始まる時には「お願いします」、授業が終わるときには「ありがとうございました」、塾を帰るときには「さようなら」と、自然に口をついてあいさつができるようになってほしいと思っています。

あいさつは強制されてするようなものではありません。しかし、あいさつをするのを恥ずかしいと思う人や、あいさつしても返事が返してもらえなくて悲しい思いをする人がいるのも事実です。ですから、みんなが自然とあいさつができるようになるようまで、あいさつを強制したいと思います。はじめは強制されているあいさつが、みんなの口から自然に出てくるようになるといいなと思います。

だから学び舎では、塾の先生や塾の周りにいる人にあいさつができるように指導していきます。

② 10分前に通塾し、5分前には着席すること。

時間を守ることは、信用を守ることです。時間を守る人は、約束も守るという共通点があるとも言われています。私は、みなさんに約束を守り、人に信用される人物になってほしいと願っています。また、ギリギリに到着して、時間を守ったという感覚も変えていきましょう。すべての行動の基本は10分前行動です。到着すべき時刻の10分前には少なくとも到着して、落ち着いて始まるのを待てるようにしてほしいと思います。

ですから学び舎では、授業開始時刻の10分前に到着していない場合は、遅刻とみなします。遅刻や欠席の連絡も授業開始時刻の10分前までにしてもらいましょう。

③ 宿題は必ずしてくること。

宿題を塾に来るまでに終わらせてくることは、授業を受けるうえでの最低限の礼儀だと考えています。みなさんと塾の間の約束でもあります。約束が守れない人を信用することはできません。人に教えてもらうことは勉強になりませんので、禁止していますが、調べることは大歓迎です。わからないときは塾のテキストやノート、学校の教科書や資料集などで調べて、できるだけすべての問題を埋めてくるようにしてください。

④ テストの勉強は必ずしてこること。

塾内の暗記テストは、必要な知識を頭に入れてもらうために行っています。塾に通うだけで成績が上がることはあり得ません。塾の授業と、十分な家庭学習の両方がなければ、十分な成果は期待できません。原則として、テスト内容は事前に提示しますので、少なくとも合格できるまで、できれば満点をとれるようになるまで練習してから塾に来るようにしてください。

⑤ 原則として、制服で通塾すること。

学び舎では、原則として制服での通塾をお願いしております。洗濯などの都合から、制服での通塾が難しい場合は、学校の体操服での通塾をお願いします。

制服も学校の体操服も着てこられない場合は、事前にご連絡いただき、華美でない服装で通塾ください。

⑥ 休憩時間以外、塾内での飲食はしないこと。

休憩時間は、原則として6:30~6:50となります。(テスト対策中や土曜日・日曜日などは異なることがあります。)学校から直接来る場合などは、この時間帯に食事をとってかまいません。ただし、お菓子類の飲食は禁止です。テスト前なども、この時間が休憩時間となります。飲食物は、塾に来るときに持ってきておいてください。また、飲み物類は、水筒かふたのできるペットボトルなどにしてください。

⑦ 携帯電話は電源を切り、カバンに入れておくこと。

塾に携帯電話は必要ありません。持ってきた場合も、必ず電源を切り、カバンに入れておいてください。

⑧ 忘れ物はしないこと。(以下のものを持ってきてください)

- ・ 筆記用具(鉛筆・消しゴム・赤ペン・青ペン・蛍光ペン・定規・コンパス・三角定規)
- ・ 塾で配布されているテキスト(毎回すべてのテキストをもってこること)
- ・ 自学用ノート(単語の練習、演習問題、レポートなどに使用)
- ・ ルーズリーフ(B5サイズ、26穴)

⑨ 塾から帰るときに必ず保護者へ連絡すること。

授業が終了したら、必ず保護者の方へ電話かメールをしてください。お迎えが来られるかどうかにかかわらず、「今から帰ります。」と保護者の方へ伝えてください。塾を出た時間がわかっておけば、万が一事件や事故に巻き込まれたときに早めにわかります。みなさんの安全を守るための「塾のきまり」です。「うちは大丈夫」などと勝手な判断で連絡をしないようなことをしてはいけません。必ず連絡してください。

⑩ 帰り道の寄り道はしないこと。

塾が終わったら、すみやかに帰宅してください。コンビニなどのお店に寄ったり、どこかで友達としゃべったり、帰る方向のちがう友達と一緒に帰ったりしてはいけません。事件や事故に巻き込まれる可能性を最小限にとどめるため、必ずすみやかに帰宅してください。

退塾要件

下記のようなことがあった場合は、退塾となります。

- ・ カンニングをしたとき。(理由を問わず、即刻退塾となります)
- ・ 意図的に塾をサボった場合。(面談を実施致しますが、原則退塾となります)
- ・ 学校や塾で問題行動をとった場合。
- ・ 家出や万引きなど、学校外で問題行動をとった場合。
- ・ 髪の色や染色、ピアス穴を開けるなど、素行に問題が出始めた場合。
- ・ 出席率・テスト合格率が75%を切ったため三者面談を行ったが、その後改善が見られない場合。
- ・ 無断遅刻率・宿題忘れ率が9%をこえたため三者面談を行ったが、その後改善が見られない場合。

「宿題」と「課題」について

① 「宿題」と「課題」のちがい

- ・「宿題」… 自宅で取り組んできて、丸つけをしないもの。
- ・「課題」… 自宅で取り組み、丸つけとやり直しまで自分でやってくるもの。

② 宿題への取り組み方について

- ・宿題は、テキストなどを見て調べても構いません。ただし、人に聞くことは禁止です。
- ・宿題は原則として、すべての問題を埋めてくるようにしてください。自信がなくても、原則として空欄をつくらないようにしてください。空欄が多い場合も宿題忘れとなります。
- ・宿題忘れした場合、反省文を提出してもらい、その内容を翌日までにレポートしてもらいます。

③ 課題への取り組み方について

- ・提示された課題は、必ず1ページごとに丸つけとやり直しを実施します。
やり直しとは、もう一度解きなおして理解することです。答えを写すことではありません。
ただ、答えを写しただけのやり直しだと判断した場合は、指導後、居残りしてもらいます。
- ・大量の課題が提示される場合もありますので、宿題忘れとは対応は異なりますが、できる限り、終わらせてくるようにしてください。終了していない場合は、原則として居残りとなります。

塾内のテストについて

① 合格・不合格の基準について

- ・満点の84%（小数点以下は四捨五入）以上で合格です。
- ・合格した場合も満点でなければ、まちがえた問題は原則としてレポートをしてもらいます。
- ・不合格した場合は、反省文を提出してもらい、再テストを受けてもらいます。

② 再テストについて

- ・満点の97%（小数点以下は四捨五入）以上で合格です。
- ・合格の場合も満点でなければ、まちがえた問題は原則としてレポートをしてもらいます。
- ・不合格した場合は、合格するまで再テストを繰り返してください。

※ レポートのやり方は、テストによって多少異なります。レポートの必要がないテストもあります。

保護者の方へのお願い

なるべくほめてあげてください。

「ほめると調子にのって、天狗になるから…」とか「うちの子は叱られて伸びるタイプだから…」と言って、なかなかお子さんをほめない保護者の方がいらっしゃいます。実力がともなっていなければ、天狗の鼻はすぐにへし折られます。叱られてばかりで伸びるお子さんはいらっしゃいません。大切なのはバランスです。叱らないでくださいというお願いではありません。叱るのと同じようにほめてあげてください。

「勉強しなさい」とあまり言わないであげてください。

保護者の方から「勉強しなさい」と言われると、やる気が無くなってしまうのは事実です。「もともとやる気なんかないのでは？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、実はお子さんたちの心の中には「勉強しなきゃ」という気持ちはあるのです。気になったときには「勉強しなくて大丈夫？」と尋ねてあげてください。それが、勉強を始めるきっかけになるかもしれません。どうしても不満がつのったら、塾にご連絡下さい。塾でご本人さんに指導を行います。親子げんかをしているような状態では、なかなか成績は上がりません。

本人から連絡があってから、お迎えにお越しください

当塾では、必要があれば、その日に居残りさせることが多々ございます。授業終了後に、再テストや補習を行うことがございますので、お迎えは本人から連絡があってからお越しいただけると幸いです。お迎えがお越しになられるまで、お子様には教室内で宿題をしながら待っていただきます。お迎えの保護者が待たれるのではなく、迎えに来てもらう本人が待つべきだとも考えております。ご協力よろしくお願い致します。

特待生割引制度

特待ランク	本科授業料を	小学生	中学生	
		あゆみ「学習のようす」の「よくなる」が	5教科の評定合計が	9教科の評定合計が
S特待生	全額免除	30個以上	25	43以上
A特待生	60%割引	27個以上	24	41以上
B特待生	30%割引	24個以上	23	39以上
C特待生	10%割引	17個以上	22	36以上

※「あゆみ」が33項目未満の場合や、8教科しか評定がつかない場合などは、個別にご案内させていただきます。

兄弟姉妹割引制度

- ・ 塾生、卒塾生の御兄弟の入塾の際は、入塾金を無料とさせていただきます。
- ・ 年長者の毎月の本科授業料から、5,000円（税抜）を減額させていただきます。
- ・ 年長者の講習会受講料から、5,000円（税抜）を減額させていただきます。

※ 兄弟姉妹割引制度は、他の割引と併用できません。



その他の割引制度

- ・ 転塾割引 … 他塾からの転塾の場合、入塾金を5,000円（税抜）割引させていただきます。
- ・ 紹介割引 … 塾生や卒塾生の保護者様などからの御紹介の場合、入塾金を5,000円（税抜）割引させていただきます。

入塾3ヶ月返金制度について

入塾後3ヶ月経過して4カ月に達する前に退塾の申し出があった場合、それまでにお支払いいただいた費用をすべて返金いたします。ただし、返金を受けるには下記の9つの条件をすべて満たしている必要があります。

- ・ 入塾日から90日以上経過していて120日を経過する前に申し出があること。（講習会期間を除きます）
- ・ 面談を実施し、退塾理由に関するアンケートに答えていただくこと。
- ・ 入塾時期（面談、または初回授業の実施日）が、小4の4月1日から中3の4月30日の間であること。
- ・ 在塾期間の授業料に関して、滞納が一度もないこと。
- ・ 在塾期間の出席率・テスト合格率が80%を超えていること。
- ・ 在塾期間の無断遅刻率・宿題忘れ率が9%未満であること。
- ・ それまでに使用したテキスト類を返却していただくこと。（テストの答案などは必要ありません）

※ 入塾金・授業料・教材費などの費用を返金いたします。（講習会関連の費用は除きます。）

※ 入塾3か月返金制度は、きちんと3か月通塾していただければ学び舎の魅力を理解していただければ、続けて通塾していきたいと感じてもらえるという自信にもとづく制度です。入塾後1か月では、勉強が辛いと感じてしまうお子様でも、3か月後に、目に見えた結果が現れれば、きっと通塾して頑張ろうと思っただけのことと確信しております。

※ それぞれの数値の計算方法

- ・ 出席率 = (正規の授業に出席した日数) ÷ (正規の授業が実施された日数) × 100
- ・ 無断遅刻率 = (連絡の無い遅刻の回数) ÷ (正規の授業が実施された日数) × 100
- ・ 宿題忘れ率 = (宿題忘れの個数) ÷ (正規の授業が実施された日数) × 100
- ・ テスト合格率 = (合格したテストの個数) ÷ (実施されたテストの個数) × 100

入塾の流れ

① お問い合わせ



② 入塾テスト



③ 入塾面談



④ 授業見学



⑤ 入塾

お電話・メール・教室で入塾の相談をお受けしております。まずは、入塾テストの日時についてご案内させていただきます。授業料・時間割などのご質問にもお答えいたします。

小学生は算数と漢字のテスト、中学生は英語と数学のテストを実施させていただきます。

入塾テストの結果をもとに、教育相談を行わせていただきます。

時間割・授業料・規則・システムなどについて、ご説明させていただきます。

希望される場合は、授業見学を実施させていただきます。

いよいよ勉強が始まります。目標に向かって一緒に頑張っていきましょう。

また、入塾後合わないとお感じになられた場合、入塾後3か月返金制度が利用できます。

アクセス



学び舎

(まなびや)

〒819-1119

福岡県糸島市前原東2丁目6-78

国道202号線、「糸島農協前」交差点を唐津方面からは左折（福岡方面からは右折）、300mほど直進し「総合庁舎前」交差点を左折、約100m直進した左側。駐車場あり。JR 筑前前原駅より車で約5分。

TEL 090-3378-7494

Fax 092-326-6276

Mail maebaru@manaviya.net

URL manaviya.net



manaviya



@MaebaruManaviya



www.facebook.com/manaviya